



西成区将来ビジョン(素案)

西成区役所

目次

はじめに

1. 西成区の概況
2. 西成区の現状
3. 西成区のめざす将来像
4. 将来像を実現するための柱(施策展開の方向性)

柱1 子どもの夢がひろがるまち

戦略1 子どもが健やかに成長できるようにする

戦略2 すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる

戦略3 親子が安心して暮らすことができるように支える

柱2 人と人がつながりにぎわうまち

戦略1 住みたいまち、行ってみたいまちにする

戦略2 地域の活動を支えてつながりをつくる

戦略3 誰もが活躍して輝けるまちにする

柱3 みんなが安心して暮らせるまち

戦略1 大規模災害等に備えた体制をつくる

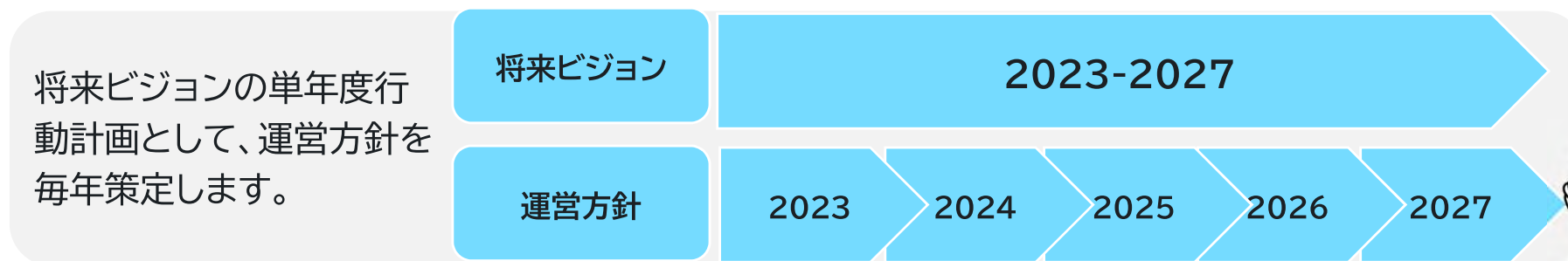
戦略2 行政と地域住民が連携して防犯・安全対策をおこなう

戦略3 あいりん地域の環境改善事例を広げていく

はじめに

区将来ビジョンは、区政を運営していく上で、区のめざすべき将来像、その将来像の実現に向けた施策展開(まちづくり)の方向性等をとりまとめ、区民の皆さんに明らかにするものです。区運営方針は、区将来ビジョンで示された施策展開(まちづくり)の方向性に沿って、年度ごとの施策・事業の取組みを明らかにする単年度ごとのアクションプラン(行動計画)になります。

これまで進めてきた取組みを継続するとともに、新たな課題や環境変化に対応するため、令和5年度(2023年度)からの5年間を新たな計画期間とする新しい「西成区将来ビジョン」を策定します。



1. 西成区の概況

- 大阪市の南西、上町台地の西側から木津川に至る間に位置。
- 北に浪速区、東に阿倍野区、南に住之江区、木津川を挟んで西に大正区が隣接
- 人口 106,111人
- 面積 7.37km²
- 世帯数 66,379世帯
- 国道26号線、43号線、大阪臨海線などの幹線道路、OsakaMetro四つ橋線・堺筋線、JR大阪環状線・関西本線、南海本線・南海高野線、阪堺電気軌道阪堺線が運行し、関西国際空港や近畿圏内の観光地へのアクセスが良い
- 大阪市顕彰史跡の天下茶屋跡などの旧跡、大阪フィルハーモニー交響楽団の活動拠点、セレッソ大阪との関わりが深い南津守さくら公園スポーツ広場など、多くの歴史・文化・観光資源が存在している



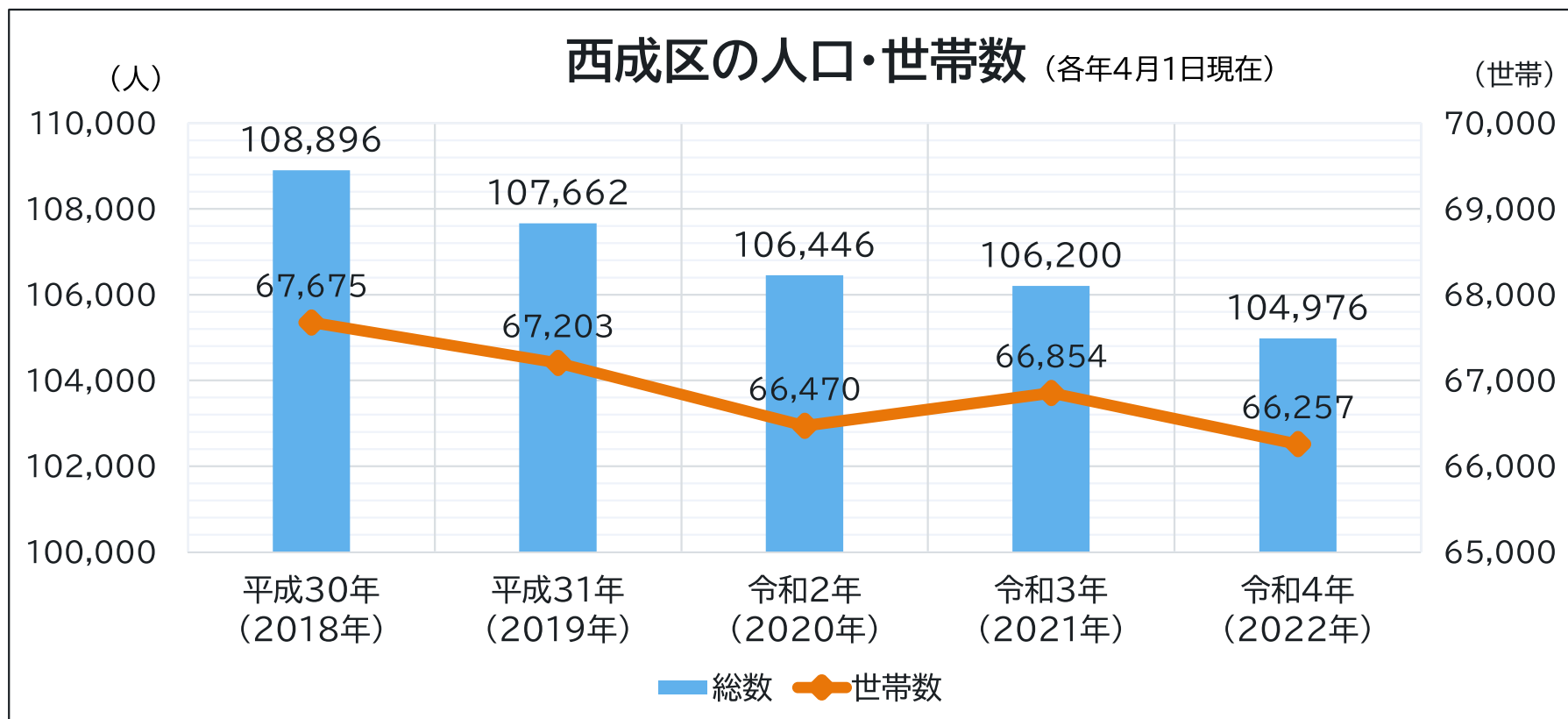
(人口、面積、世帯数は令和2年国勢調査データに基づく)

2.西成区の現状

西成区の人口は減少傾向にあります。

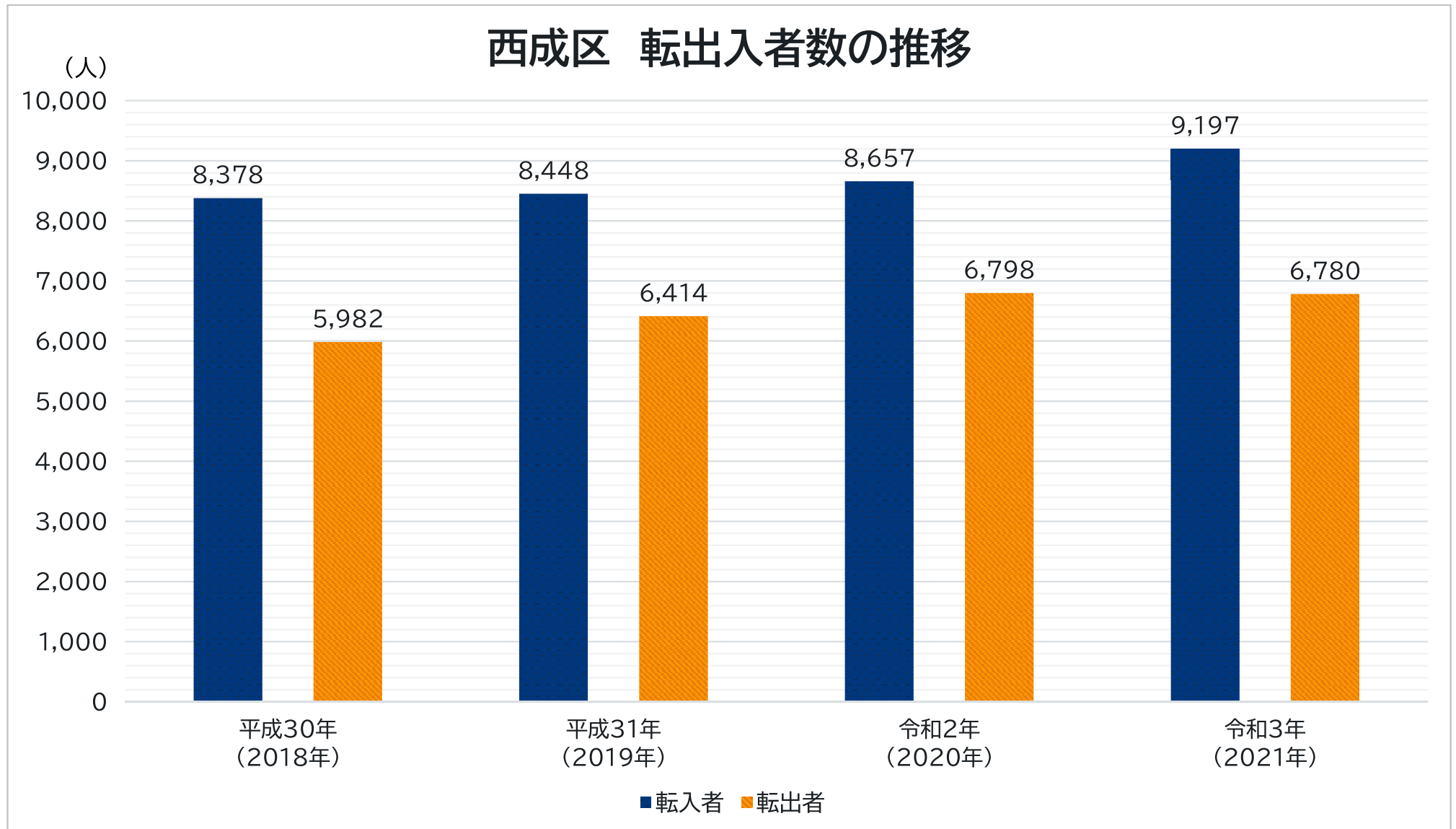
一人の女性が一生の間に生むと想定される子どもの数を表す合計特殊出生率は、大阪市平均(1.25)とほぼ同じの1.22ですが(平成27年時点)、65歳以上の高齢者の占める割合は24区で最も高い状況です。

一方で転出入者数の推移を見ますと、転入超過が続いておりませんが、自然減による人口減少が急速に進行している状況です。



【出典：計画調整局 推計人口(毎月1日現在)・人口異動】

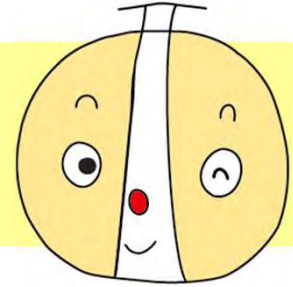
2.西成区の現状



【出典:大阪市統計書 3-3人口移動】

3.西成区のめざす将来像

笑顔のあふれるまち にしなり

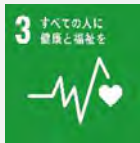
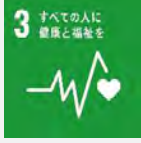


人と人とのつながりを大切に
みんなが笑顔で暮らしやすいまちをめざします



3. 将来像を実現するための3つの柱

若い人や子育て世帯を呼び込み、活力あるまちをつくることを目標に、次の3本柱の施策を進めていきます。

1.子どもの夢がひろがるまち					
2.人と人がつながりにぎわうまち					
3.みんなが安心して暮らせるまち					

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能で、よりよい世界をめざす国際目標です。
大阪市におけるSDGsの達成に向けた取組みの推進に繋げるため、西成区でも、地域・関係機関等とも連携を行い、「持続可能な開発目標(SDGs)」の観点も踏まえ事業に取り組めます。

柱1. 子どもの夢がひろがるまち

めざす姿

すべての子どもが学び、健やかに成長することができる
まちをつくります

課題

- 子どもたち自身で課題や困難を乗り越える力を育むことができ、子ども同士や大人と関わることで安心感を得たり社会性が身につく居場所をつくる必要がある。
- 教育環境の充実に向けて、学力や学習姿勢が身についていない児童生徒の支援とともに、区全体の学力向上に向けた取組みを進める必要がある。
- 生活面の課題がある児童生徒が健全な学校生活を送ることができるよう、支援する必要がある。
- 子育て世帯が地域で安心して子育てできる環境づくりが必要である。
- 核家族など世帯規模が縮小し地域とのつながりが希薄化する中で、福祉的課題を抱える世帯は社会との関わりを敬遠する傾向にあり、孤立するリスクが高いため、予防的支援が必要である。



柱1. 子どもの夢がひろがるまち

戦略(1) 子どもが健やかに成長できるようにする

めざす状態

- 子育てしやすい環境が充実し、すべての子どもが安心して生活できる状態

取組みの方向性

- 子どもの自由な発想や創意工夫を促して、社会を生き抜く力を育む居場所を充実させる。

